

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (著書) 三原つなぎ、つながる支援ガイド 2017年3月	共著	2017年3月	三原市地域包括ケア連携推進協議会	本書は、平成27年3月発刊後に、実際の支援場面や各機関の連携にどう活用されているかの実情を把握するためにアンケート調査を実施し、意見集約し、専門職のみではなく、一般の方々にもわかるような記載に工夫し、利用頻度が高いものについては詳細に記載するなど改良した。(総ページ数:321頁)担当部分の概要:第3章 成人・障害のある人の支援 第2～6節(50-86頁)担当。
2 (著書) 精神科病院と地域支援者をつなぐみんなの退院促進プログラム—実施マニュアル&戦略ガイドライン—	共著	2021年1月	ミネルヴァ書房	本書は、長期にわたり精神科病院に入院している人々が退院して地域で生活できるようにするために必要な手立てを、プログラム評価理論の観点からわかりやすくまとめた。(著書全体の著者名:古屋龍太、大島巖編著、 <u>長谷部隆一</u> 、ほか20名、計23名)担当部分の概要:「コラム4 居住サポート事業と連動した地域移行支援—広島県三原市の場合」(担当ページ:pp28～29、単著)
3 (著書) 精神保健福祉制度論	共著	2021年2月	中央法規／日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集	本書は、新カリキュラムに対応した精神保健福祉士養成の教科書シリーズの専門科目。(著書全体の著者名:青木聖久、大岡由佳、大塚淳子、風間朋子、高木善史、 <u>長谷部隆一</u> 、三木良子、山口弘幸、吉池毅志)担当部分の概要:「第2章 第1節 精神保健福祉法の概要と精神保健福祉士の役割」(担当ページ:pp32～52、単著)
4 (著書) 医療福祉総合ガイドブック 2023年度版	共著	2023年4月	株式会社 医学書院／NPO 法人 日本医療ソーシャルワーカー研究会編集	本書は、医療福祉サービスを利用者の生活場面に沿って解説したガイドブックの2023年度版。医療保険、生活保護、年金保険、介護保険、障害者総合支援法、子どものいる家庭への支援、自然災害に対する支援等、全国共通で利用頻度の高い制度から地域によって異なるサービスまで幅広く網羅、コロナ禍で利用できるサービスも解説。(総ページ数:317頁)担当部分の概要:V 障害者サービス執筆担当(著書全体の著者名:村上須賀子・佐々木哲二郎・高石麗理湖・河村愛子・中川美幸・渡邊佳代子・奥村晴彦・徳富和恵・森崎千晴・下田薫・下村幸仁、飯田花緒里編著、 <u>長谷部隆一</u> ほか、45名、計57名)(担当ページ:pp.181～228、共著)
5 (学会発表) 「PSW におけるソーシャル・アクションを考える～これまでの実践を通しての一考察～」	単著	2019年11月	日本精神障害者リハビリテーション学会第20回大阪大会	私たちは、制度や社会資源を活用しながら生活している。精神障害をもつ人々は、1993年の障害者基本法、1995年の精神保健及び精神障害者福祉に関する法律が成立するまで、社会福祉の対象外に置かれていた。障害や社会的要因のために生活のしづらさを抱える人たちが地域生活をしていくため、現在の法制度や社会資源が本当に使いやすいものになっているか、十分なのか確認することが必要である。PSWが精神保健福祉士として国家資格となり20年が経過した。PSWの業務として大切なことは、多岐にわたるが、今回は、ソーシャル・アクションについて、これまでの実践を通して考察した。